

地域医療介護総合確保基金事業として採択された地域提案事業事例(令和元年度～令和4年度事業より抜粋)

資料1-5

番号	提案 圏域	事業 分類	事業名	提案者	事業内容	予算決定額(千円)			担当課名	年度
						総事業費	補助額	補助率		
1	大津	I. 病床機能分化・連携	病床機能分化促進事業 (病床削減)	大津赤十字病院	平成30年1月末で休止している回復期リハビリテーション病床の後利用として、地域医療構想の目標達成に向け高度急性期・急性期機能に特化するために、内視鏡センターの移設・機能拡充整備事業を計画している。	200,900	100,450	1/2	医療政策課(整)	R1
2	大津	I. 病床機能分化・連携	病床機能分化促進事業	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院	今後、増大すると見込まれる回復期機能の充実を図るため、急性期病床のうち10床を地域包括ケア病床へ転換するための施設改修および設備整備事業を実施する。	10,000	5,000	1/2	医療政策課(整)	R1
3	大津	I. 病床機能分化・連携	回復期リハビリテーションセンター整備事業	琵琶湖中央病院	回復期リハビリテーションセンターの施設整備を行い、リハビリテーション機器の整備・充実を行う。	164,500	82,250	1/2	健康寿命推進課(健康しが)	R3
4	高島	I. 病床機能分化・連携	居住宅における医療の提供に関する事業 (回復期リハビリテーション病院における在宅復帰に向けたリハビリ機能強化事業)	一般財団法人近江愛隣園今津病院	回復期病棟患者への退院支援の充実(入院期間の短縮)、居宅・居宅外において、生活場面における「活動と参加」を視点にしたアプローチで要介護になることを可能な限り防ぐこと、要介護状態の今以上の悪化を防止しながら在宅での生活と人生を尊重して自立支援につなげていく。早期の退院で訪問リハビリテーションに繋ぎ住み慣れた自宅での生活の実現、社会参加の一歩として通所リハビリテーションへ、更にデイサービスへの移行を実現する。回復期、在宅医療を推進するために、ADLシミュレーション、身体機能評価機器等の設備整備を行う。	10,000	5,000	1/2	健康寿命推進課(健康しが)	R3
5	東近江	I. 病床機能分化・連携	病床機能分化促進事業	ヴォーリス記念病院	地域で不足すると見込まれる回復期機能の充実を図るため、現回復期病床を8床、地域包括ケア病床を14床、緩和ケア4床それぞれ増床し、合計100床機能に再編する。そのために病院新築を実施する。	264,000	132,000	1/2	医療政策課(整)	R1
6	東近江	I. 病床機能分化・連携	竜王町国民健康保険診療所(医科)整備事業【リハビリ室・多目的室】	竜王町	「早期退院後のリハビリテーション体制の強化」と「運動器疾患を中心とした機能改善・進行予防の充実」のため、リハビリテーション室および多目的室を整備し、在宅医療の充実を図る。また、子どもから現役世代、高齢者まで生涯を通じた予防、健康づくりおよび社会参加等により健康寿命の延伸を図る。	80,950	40,475	1/2	健康寿命推進課	R2
7	大津	II. 在宅・訪問医療	訪問診療体制強化モデル事業	大津市	市内のエリアを3ブロック(北部・中部・南部)に分け、ブロック事務局を設置し、ブロック内の在宅医が対応できない時に、協力を得られる医師とのマッチングを行い、医師間のサポート体制を構築するための、モデル事業を実施し、令和3年度以降の事業化に向けて評価を行う。 ●各ブロック事務局：在宅療養支援病院又は在宅療養後方支援病院、拠点訪問看護ステーションを想定 ●実施期間：6ヶ月(令和2年7月～令和3年1月10日頃)	1,500	1,000	2/3	医療福祉推進課	R2
8	大津	II. 在宅・訪問医療	在宅医療に係る医療連携体制の運営支援事業	琵琶湖大橋病院	在宅診療医の患者に関し、患者の容態急変時に、在宅診療医が体調不良等何らかの事態で訪問にいけない場合のバックアップ体制を整えるため、病院において在宅診療患者専用の当直医師及び看護師を配置する。	28,816	14,408	1/2	医療政策課	R4
9	湖東	II. 在宅・訪問医療	居宅等における医療の提供に関する事業(在宅医療推進チーム体制整備)	彦根市立病院	湖東保健医療圏における在宅医療の提供を推進するため、当院で在宅推進チームの体制を整える。専門性の高い技術を要する在宅医療の場面において、がん、泌尿器科、形成外科等の当院医師で構成される医師のチームの現場派遣およびチーム活動(カンファレンス等)を推進していくための環境整備を行うもの。	400	200	1/2	医療福祉推進課(在宅)	R3
10	大津	III. 医療人材確保・育成	医療従事者の確保に関する事業	琵琶湖大橋病院	○医師当直室の改修及び備品購入並びに洗面所新設 ○医師当直用浴室・トイレの改修 ○女性医師更衣室を新設し、女性医師の確保と離職防止や医療安全の確保などに取り組む	2,000	1,000	1/2	医療政策課(人)	R1
11	大津	III. 医療人材確保・育成	母子家庭向け託児所付き住宅整備	琵琶湖大橋病院	子育てと仕事の両立ができる働きやすい職場作りの一環として、母子家庭の医療従事者向けに離職防止ならびに、再就職を促進する為、託児所付きの借り上げ社宅を運営致します。大津市を子育てしやすい地域としての認識を更に広げ、他府県から医療従事者の増加に繋げたいと考えます。	3,000	2,000	2/3	医療政策課	R4
12	大津	III. 医療人材確保・育成	在宅医療の人材育成基盤を整備するための研修の実施	琵琶湖大橋病院	一人でも多く在宅診療に携わる看護師を育成するために、新人看護職を主として看護師の研修の充実を図る	1,068	534	1/2	医療政策課	R4
13	東近江	III. 医療人材確保・育成	国民健康保険永源寺診療所併設の医師確保定着推進事業	東近江市	在宅医療、「看取り」先進地である永源寺地区の中心を担う永源寺診療所の老朽化に伴い、地域のニーズの高まりから、湖東地区や愛東地区等他地区も含めて24時間体制で対応できる人員の確保と定着を目指し、診療所の新築部分に併設し、診療体制の充実を図る。 また、永源寺地区地域包括ケア推進会や三方よし研究会、東近江医師会在宅医療部会等との連携拠点としての役割も担う。	112,000	56,000	1/2	医療福祉推進課	R2

(参考) 湖南圏域からの提案事業一覧(令和元年度～令和4年度)

番号	事業分類	事業名	提案者	事業内容	検討結果	(×の場合) 理由	予算決定額(千円)			年度
							総事業費	補助額	補助率	
1	I. 病床機能分化・連携	病床機能分化促進事業	済生会守山市民病院	地域で不足すると見込まれる回復期機能の充実を図るため、急性期病床55床のうち53床を回復期病床へ転換するための施設改修事業を実施する。	○		160,000	79,500	1/2	R2
2	I. 病床機能分化・連携	脳卒中センター整備事業	済生会滋賀県病院	当院は6床の脳卒中専門病棟(SCU)を設置している。SCUは3対1の看護師配置、24時間の脳卒中専門医当直・常勤の理学療法士配置が義務づけられた専門病棟である。地域の医療需要に対応するために、現在の6床を12床に増床して運用するための施設改修および設備整備事業を実施する。	×	医療提供体制推進事業費補助金(統合補助金)内に該当事業あり。施設改修は、医療提供体制施設整備交付金に該当あり。				R2
3	I. 病床機能分化・連携	地域包括ケアシステムを支える予防・住まい・生活支援の充実事業	市立野洲病院	「出張!ほほえみ健康フェスタ」健康・在宅医療促進に向けた医療職のアウトリーチ事業 地域的な健康づくり、疾病予防、介護予防に関するボトムアップをめざして、壮年期や若年層の方が参画できるように配慮した事業。認定看護師チームを中心とした医療者アウトリーチによる血管年齢や骨密度等といった計測系のイベントを実施する。	×	医療者による計測系イベントは、既に広く民間を含む病院、健診機関・職能団体が独自に実施されている。また、市町・県においても実施しているところ。				R2
4	I. 病床機能分化・連携	病床機能分化促進事業	市立野洲病院	回復期リハビリテーション病棟および地域包括ケア病床を有する施設において、重症患者に対する急性期病院からの継続したリハビリテーションの提供および早期の在宅支援・就労支援を行うための設備の整備を行う。	×	野洲駅前への施設移転工事が当初の予定より延期されたと聞いている。今回提案のあったリハビリに伴う設備整備(歩行者、車椅子等)については、新病院に見合う仕様であるかどうか改めて確認した上で、設備整備を行う年度の予算に合わせて再度提案いただきたい(病床機能分化促進事業で対応予定)。				R2
5	I. 病床機能分化・連携	老朽化による解体と機能移転	済生会滋賀県病院	昭和37年に建築した建物が老朽化により解体する計画がある。建物内には、発熱外来、院内保育所、職員更衣室、SPD倉庫、事務所、カルテ庫等の機能があり、敷地内に新築して機能移転する計画である。	×	老朽化に伴う建て替え整備は基金の趣旨とは異なるため不採択。2021～2025年度にかけて実施される整備のうち、2021年度は政策医療を行うための整備とは認められないため国庫補助対象外であるが、2022年度以後の整備については国庫補助を活用できる可能性があるため、次年度改めて病院と協議予定。				R3
6	I. 病床機能分化・連携	手術室整備事業(増室)	済生会滋賀県病院	湖南医療圏で増加が見込まれている医療需要へ対応するため手術室を増室する。	×	-				R4
7	I. 病床機能分化・連携	手術室整備事業(陽陰圧切替改修工事)	済生会滋賀県病院	手術室は通常陽圧管理で管理を行っている。コロナ等感染患者に対する手術を実施する際には陰圧への切替えが可能になるよう改修を実施する。	×	-				R4
8	I. 病床機能分化・連携	医療・介護連携システム構築	済生会滋賀県病院	地域包括ケアの実現には、医療と介護の垣根を越えた連携が必要。ICTを活用し医療スタッフと介護スタッフが患者・利用者の情報をリアルタイムに情報共有なシステム構築を行う。	×	-				R4
9	I. 病床機能分化・連携	新棟整備事業	済生会滋賀県病院	湖南医療圏で増加が見込まれている医療需要へ対応するため、内視鏡センター及び健診センターの移設、MRI造設、IVR-CT新設、災害発生時のトリアージスペースの確保を行う。また、新棟整備に伴い管理棟(院内保育所、更衣室、SPD)の建設、旧病院の解体を実施する。	×	-				R4
10	II. 在宅・訪問医療	在宅療養の後方支援事業	草津総合病院	在宅療養における急性増悪時の後方支援をすすめ、早期の在宅・生活復帰を推進する。圏域での在宅療養を支援する専門的な教育を受けた看護職員を院内に配置し、草津栗東医師会との連携のもとで地域医療サポートカーの活用や在宅療養バックアップ入院支援(難病レスパイトを含む)を行う。 また圏域のかかりつけ医・訪問看護師・ケアマネジャー・施設看護介護職員などに対し、在宅療養支援のスキルアップ・住民の早期在宅生活復帰を推進するための連携研修を行い、多職種による後方支援をすすめる。	×	事業費のほとんどが看護師および事務担当職員の人件費である。人件費は原則として診療報酬で対応するものであり不採択。				R1
11	II. 在宅・訪問医療	アドバンスケアプランニングの情報共有推進事業	一般社団法人 守山野洲医師会	地域におけるアドバンスケアプランニング(以下ACPと略)の推進のために、多職種での研修会を開催し、かつ共通のツールを使った情報の共有システムの構築を図る。	○		1,000	666	2/3	R2
12	II. 在宅・訪問医療	在宅歯科医療普及促進連携事業	(一社)草津栗東守山野洲歯科医師会	在宅歯科医療および口腔健康管理の大切さを住民および関係団体へ広報・周知し、また、講演会、研修会、連携会議等を通して在宅歯科医療に係る多職種連携の推進等を図り、地域包括ケアシステムを充実させる。	○		2,000	2,000	1	R3
13	III. 医療人材確保・育成	医療・介護従事者の確保・育成事業	市立野洲病院	小学生が病院・施設内を見学体験できるイベント 地域的な医療・介護に対する理解を向上し、将来的な医療従事者の人材確保をめざして、病院・施設を学び、体験できるイベントを実施する。 年次計画により、5か所の小学生全域を対象とする。	×	自施設の事業であり、基金の目的に即した事業効果が明確でない。				R2